

# 国文学研究資料館年報

National Institute of Japanese Literature

平成17年度(2005)





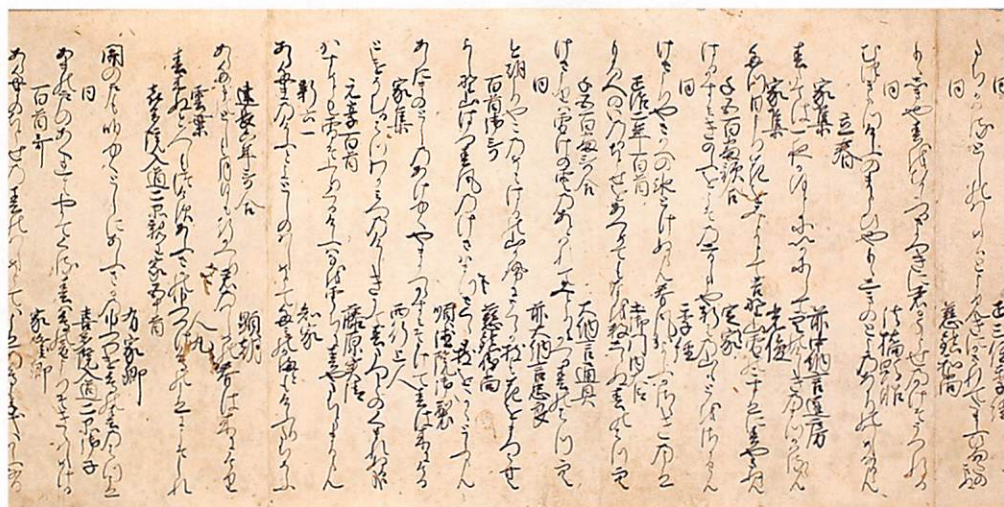
# 国文学研究資料館年報

National Institute of Japanese Literature

平成17年度(2005)

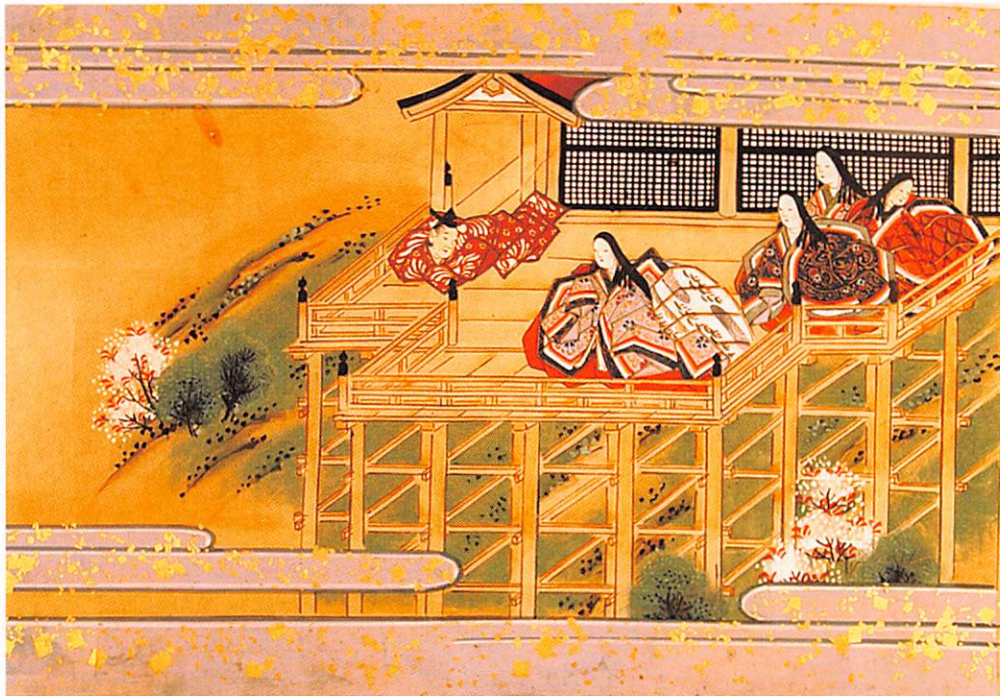


源氏小鏡 (88 頁参照)

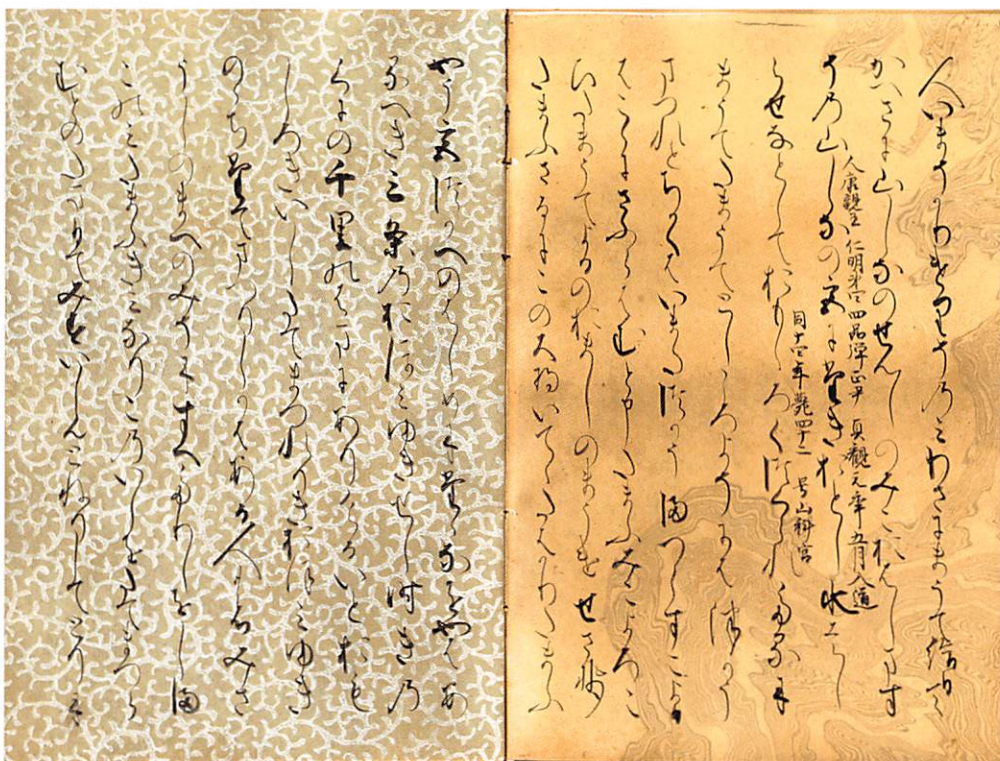


夫木和歌抄 (85 頁参照)





小男の草子 (88 頁参照)



長谷章久旧蔵「伊勢物語」(87 頁参照)





連携展示「うたのちから—古今集・新古今集の世界—」ギャラリートーク



連続講演「古今集から新古今集へ」





子供見学デー



アーカイブズカレッジ（実習風景）

# はじめに

国文学研究資料館は、平成 16 年度からの国立大学の法人化にともない、大学共同利用機関法人となり、人間文化研究機構を構成する一機関として再発足することになりました。同じ機構に所属するのは、国立歴史民俗博物館・国際日本文化研究センター・総合地球環境学研究所・国立民族学博物館の 5 機関です。従来はそれぞれのミッションのもとに、文部科学省直轄の研究所として活動を続けてきましたが、一昨年度からは機構本部のもとに各種の委員会を構成し、分野に応じた連携、共同研究を推進する態勢を整えているところです。国文学研究者をもっぱら相手にしていたのとは異なり、さまざまな分野の研究者とコミュニケーションを交わさなければならないだけに、そういう意味では激変したといってよく、私どもは一層の視野を広げる必要に迫られているのも実情であります。

1972 年 5 月に国文学研究資料館は発足して以降、国文学研究者コミュニティに支えられ、国内外に所蔵される資料を調査収集するのが大きな目標として事業を推進してきました。そのようにして得たデータを研究者に還元し、利用していただくとともに、若手の研究者を支援していくことが使命であることは、法人化されても変わりません。国文学研究資料館としては、毎年数多くの出版、報告書を出すとともに、「十年の歩み」「国文学研究資料館の 20 年」「国文学研究資料館 30 年誌」「史料館の歩み四十年」「史料館の歩み 50 年」といったように、過去の回想とともに評価も交えてデータをまとめてきました。ただ、今日のようにテンポが速くなってきた時代には、それでは即応しきれなくなってもおりますだけに、法人化されたこの二年を振り返り、次年度以降の計画を実施していくためにも、継続して「年報」として作成することにいたしました。目次を見ただけでも、国文学研究資料館が発足した当時とは比較にならないほどの研究業務を積み重ねていることがわかっていただけるものと思います。

国文学研究資料館は、法人化を契機として組織を全面的に改め、全教員が四つの研究系に所属し、そこから四つの事業部を支える仕組みにいたしました。館の基本であります調査収集という研究事業は進めますが、それだけでは存在意義が問われかねません。できるかぎり国文学研究のフロンティアとしての責務を果たし、人文学の活性化に少しでも寄与していきたく思っております。国文学や歴史研究の方々と共同研究を組織し、その成果を出版やホームページ、展示等によって公開することによって、一層の社会還元をはかる所存です。本書をお読みいただき、多くの方々のご意見やご鞭撻をたまわりたく思っているところです。

平成 18 年 12 月

国文学研究資料館長 伊 井 春 樹

# 国文学研究資料館年報


平成 17 年度 (2005)

## 目 次

### 館長挨拶

1 研究プロジェクト .....	9
1. 文学資源研究系 .....	9
2. 文学形成研究系 .....	16
3. 複合領域研究系 .....	23
4. アーカイブズ研究系 .....	30
2 情報事業センター .....	38
1. 調査収集事業部 .....	38
2. 電子情報事業部 .....	40
3. 普及・連携活動事業部 .....	49
4. 情報資料サービス事業部 .....	55
3 新収和古書一覧 .....	65
4 新収和古書紹介 .....	85
1. 平成 17 年度指定貴重書 .....	85
2. 新収コレクション .....	87
3. 新収資料 .....	88
5 各教員実績一覧 .....	93
6 科学研究費補助金実績一覧 .....	115
7 刊行物一覧 .....	117
8 外国人研究員・外来研究員 .....	121
9 海外出張・研修一覧 .....	124
10 各種委員会委員一覧 .....	134
11 運営会議委員、幹部職員一覧 .....	181
12 外部評価 .....	183
13 大学院教育 .....	189
14 国際交流 .....	196
15 総務・財務 .....	198





大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

## 国文学研究資料館

〒142-8585 東京都品川区豊町1-16-10  
TEL : 03-3785-7131 FAX : 03-3785-4452



URL : <http://www.nijl.ac.jp>

National Institute of Japanese Literature(NIJL)

National Institutes for the Humanities

Address : 1-16-10 Yutaka-cho, Shinagawa-ku, Tokyo 142-8585, Japan

Telephone : +81-3-3785-7131 Facsimile : +81-3-3785-4452